

の保存ならびに発掘調査をすすめるため、決定路線地域の埋蔵文化財所在調査ならびに発掘調査のため予備調査を実施した。

① 所在調査

第4次決定路線の発表に伴い、関係市町村教育委員会ならびに地元の研究者の協力を得て、埋蔵文化財の所在状況の確認調査を行なった。

調査区間	調査月日	埋蔵文化財確認数
福島(松川)～国見町	10月2日～15日	9カ所

② 予備調査

所在調査によって確認された埋蔵文化財の規模、性格等を調べ、発掘調査計画を作成するため、埋蔵文化財調査員による予備調査を実施した。

遺跡名	市町村	調査月日	調査員
関根遺跡	福島市(水原)	11月14日	渡辺一雄
愛宕山遺跡	〃(松川)	15日	〃
雨日森遺跡	〃(平石)	18日	小滝利意
西久保遺跡	〃(〃)	19日	〃
腰巻遺跡	〃(東湯野)	20日	梅宮茂
上岡遺跡	〃(〃)	21日	〃
内城館跡	桑折町	22日	〃
厚樫山空堀	国見町	12月2日	田中正能
八十八大師碑群	〃	3日	〃

(3) 振興山村地区民俗資料調査

振興山村地区においては近代化のため諸事業が急速にすすみ、これに伴い地域の生活様式等が急変して生活・生産等に関する民俗資料が消滅・散逸する現状にあるため、用具等の収集保存を中心として有形・無形の民俗資料の調査を実施した。

- ① 調査期間 43年7月25日～29日
- ② 調査地域 耶麻郡西会津町
- ③ 調査員 県文化財専門委員(民俗担当)および民俗学研究者
- ④ 調査内容 衣食住、生業、一生の儀礼、年中行事、昔話と伝説、民謡とわらべうた、民俗芸能、村の組織等

(4) 天然記念物緊急調査

近年各種開発の急速な進展に伴い、自然の破壊が著しく、学術上貴重な生物群集が急激に消滅しつつあるため、いまなお自然状態を保っている地域の分布等を調査し、天然記念物保護の基礎資料を作成するため、天然記念物緊急調査を実施した。

- ① 調査期間 43年5月～44年3月
- ② 調査地域 県内全域
- ③ 調査員 県内の動・植物学者を調査員に委嘱(29名)
- ④ 調査内容 県内全域の自然植物相を知るため、各種植物群落の実体とそれらの分布状態を調査して、植生図および所在図ならびに各々の説明書を作成した。

6. 文化財の普及・公開

(1) 第10回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

北海道・東北地方に遺存する優れた民俗芸能を広く公開し、一般の理解と認識を深めるとともに、民俗芸能関係者による研究を行なった。

- ① 期日 9月8日 民俗芸能一般公開
9月9日 研究協議会
- ② 場所 福島市公会堂、同中央公民館
- ③ 公開 長折の三匹獅子舞 福島県
種目 日和田田植踊 山形県
煤孫の雛子けんばい 岩手県
松前神楽 北海道
南部虎舞 青森県
常州下御供佐々楽 秋田県
江島の法印神楽 宮城県
都々古別神社御田植祭り 福島県

(2) 第18回県民俗芸能大会

県教育委員会、原町市、同教育委員会、福島民友新聞社の共催により、主として相双地方に伝承されている民俗芸能を一般に公開し、あわせて、出演芸能の記録作成を行なった。

- ① 期日 43年11月19日
- ② 場所 原町市体育館
- ③ 公開 上栃窪の田植踊り 鹿島町
種目 柳橋の太々神楽 郡山市
濫觴の舞 霊山町
中島の剣舞 浪江町
大谷じゃんがら念仏踊 檜葉町
下渋佐の神楽 原町市
えびす大黒舞 原町市

(3) 文化財愛護地域活動

文化財愛護地域活動を全国的に普及するため、文化庁において文化財愛護モデル市町村を選定したが、本県から「郡山市」「会津若松市」が指定を受け、それぞれ地域に即応した活動を実施した。

(4) 文化財資料の刊行

東北自動車道埋蔵文化財発掘予備調査報告書
西会津の民俗、福島県の民俗芸能、福島県文化財目録

(5) 銃砲刀剣類の登録

銃砲刀剣類所持等取締法に基づく銃砲刀剣類の登録ならびに登録証再交付、所有者変更届の件数は次のとおりである。

- ① 登録審査の状況(下表のとおり)
- ② 再交付件数 60件
- ③ 所有者変更届出件数 810件

期日	開催場所	審査委員	登録件数	備考
43.5.20	郡山市	中沢・宇井	473件	臨時
6.27	会津若松市	鈴木・平原	350件	
7.10	いわき市	平 佐藤・中沢	293件	
8.1	福島市	宇井・平原	322件	
9.10	会津坂下町	鈴木・平原	136件	
10.25	原町市	佐藤・平原	181件	
11.15	二本松市	宇井・平原	299件	
11.25	棚倉町	中沢・宇井	113件	
	福島市	平原	38件	
		計	2,205件	